

HOT NEWS

雲仙復興事務所

平成26年12月3日

噴火から24年 溶岩ドーム崩壊を想定した初めての住民避難訓練

発信元

雲仙復興事務所
調査課 遠藤 亮子

平成26年11月16日(日)溶岩ドームの崩壊に備えた初めての住民避難訓練、「島原市防災避難訓練」を実施しました。住民562人と共に雲仙復興事務所、自衛隊、消防、警察等を含めた13機関の関係者181人、総勢750人が参加しました。「非常食炊き出し訓練」や「AED講習会」も開催されました。「安中地区の安全・安心をいかに保つか。危機感を持って溶岩ドームと暮らしていく必要がある。」という島原市長の言葉のように、「自分の命は、自分で守る」という心構えをこの訓練で再確認しました。

避難勧告放送

『地震により、雲仙普賢岳の溶岩ドームが崩壊の恐れがあります。安中地区の住民の皆様は、避難されるよう勧告致します。』



合同調整会議の様子



自衛隊による
要配慮者の輸送



九州大学 地震火山観測研究センター
清水教授による火山の研修



島原地域広域市町村圏組合によるAED講習会



調査課長より溶岩ドームソフト対策について説明



パネル展の説明と技術副所長



マルチコプター実演



子供達の視線は釘付け！！

マルチコプターの説明をする事務所長



報道の取材を受ける事務所長